

## はじめに

令和六年七月、パリ2024オリンピック競技大会がフランスで開催され、世界中のアスリートたちが素晴らしいパフォーマンスを見せてくれました。特に日本の選手たちの活躍は目覚ましく、海外開催の大会における金メダル数、メダル総数は過去最多を記録しました。努力と苦難を乗り越えて頂点に立つ姿、自身の限界に挑戦し困難に立ち向かう姿は、日本中の人々に勇気と感動を与えてくれました。その後開催されたパラリンピック競技大会でも、奮闘する選手と観客が一体となって、類まれな盛り上がりを生み出し、障害の有無を超えて多様な価値観を認め合う「共生社会」の未来図を提示してくれました。

一方で、大会に水を差す残念な人権問題も発生しました。ミスをした選手や期待する結果を出せなかった選手、審判に対するインターネット上での誹謗中傷です。相次ぐ誹謗中傷に、日本オリンピック委員会が、選手への侮辱や脅迫など悪質な投稿に対して、法的措置を検討するというメッセージを出す事態となりました。また、性別と出場資格をめぐることも、関係する女性選手への一方的な誹謗中傷が繰り返され、大きな問題となりました。

こうした中、人権についての理解を深めるとともに、日常生活の中で人権への配慮が態度や行動に現れるような人権感覚の育成に主眼を置いた人権教育の充実が一層求められています。

「はばたき」には、子供の豊かな感性で人権についてとらえた作品が掲載されています。思いやりに満ちた温かい心や社会のあり方を鋭く突いたまっすぐで純粋な気持ちにあふれた子供たちの文章には、人の心に響くものがあります。この「はばたき」が、学校や地域・家庭等で広く活用されること、手に取った方々が、他人の痛みに気付いているか、偏見や差別の種が隠れていないか、人権を尊重できているかなど、自分自身の心を見つめ直すきっかけとなることを切に願っています。

おわりに、すばらしい作品を応募してくださった児童生徒の皆さん、御指導をいただいた学校の先生方、刊行にあたって御協力いただいた編集委員の皆様には厚くお礼申し上げます。

令和六年十二月